

學校図書

尋常小學讀本

明治26年

緒言

一 此書ハ曩ニ本局ニ於テ編輯セル讀書入門ニ次ギ尋常小學校第一年ノ半ヨリ第四年ノ末ニ至ルノ間兒童ニ讀書ヲ教ムルノ用ニ供セシガ爲メ編纂セルモノニシテ全部通シテ七冊トス。

一 此書ニ選擇セル材料ハ兒童ノ心情ニ恰



當シテ、解シ易ク學ビ易ク、且快味ヲ有ス
ルモノニシテ、知ラズ識ラズ、其品性ヲ涵
養陶造スルニ適ス可キモノヲ取レリ。
一 此書ノ文體ハ、最初ニ談話體ヲ用ヒ、漸次
ニ進ミテ文章體ニ移リ、以テ目下普通ノ
漢字交リ文ヲ了解スルニ至ラシム。漢字
ハ、其用最モ廣キ者ノ中ニ就テ、大凡二千
字ヲ選ビテ、之ヲ全部中ニ編入シ、成ル可
キタケ、簡畫ノ者ヨリ、漸漸繁畫ノモノニ
及ボセリ。

一 此書第一卷ハ、兒童ノ遊戲、或ハ昔話等ノ
如キ、意義ノ解シ易ク、趣味ノ覺リ易キモ
ノヲ選ビ、成ルベキタケ、一地方ノ方言ト、
鄙野ニ涉レルモノトヲ除キ、談話體ノ言
辭ヲ以テ之ヲ記シタリ。又漢字ハ、成ルベ
キタケ、字畫ノ少クシテ、其用ノ普通ナル
モノヲ用ヒ、且其記憶ヲ牢クセシガタヲ
ニ、前課ニ用ヒタル漢字ハ、必ズ後課ニ複
出シテ、其練習ノ用ニ供シタリ。
一 第二卷、第三卷ニ至リテハ、簡短平易ナル

3
文章體ヲ以テ之ヲ記シ漢字モ亦漸ク其
數ヲ増加スト雖モ其文字ノ練習ハ稍緊
要ナラザルガ故ニ必ズシモ之ヲ後課ニ
複出セズ唯記述ノ事柄ヲ選ビ、遊戲ノ話
ニ雜フルニ、諺考ヘ物庶物ノ話其他養氣
ニ資ス可キ古人ノ行實等ヲ以テシ、第四
卷、第五卷ニ至リテハ文章モ稍長キ者ヲ
載セ地理歴史ノ事實ヲ加ヘ第六卷、第七
卷ニ至リテハ學術上ノ事項ヨリ、農工商
ノ職業ニ關スル事項ヲモ加ヘタリ、但毎

卷皆新ニ教フル漢字ハ毎課ノ末ニ摘要
シテ教授ノ便ニ供セリ。

一 此書ハ本局ニ於テ編纂シ本省特ニ設ク
ル所ノ審査委員ノ審査ニ附シ文部大臣
ノ裁定ヲ經テ成レルモノナリ。

明治二十年

文部省編輯局

尋常小學讀本卷之一

第一課

あのひとはいぬ
 をつれておきます。
 あの人は大きな
 人ではありませぬか。
 あの犬はわたくし



れもひます。

此 持 力 刀

第五課

こゝに六人の子どもがゐます。
 太郎は刀を持ちて大一やう
 となり、三郎 四郎 五郎は、
 ほらをおついで、兵たゝもなり、
 まゝだ。此 兵たゝは、よく

うろろてならんでゐます。
 らつばを吹く
 のは力三で
 たゝこをうつ
 のは二郎で
 あります。

此 兵たゝは、みな

つよくて、よく大一やうのが

